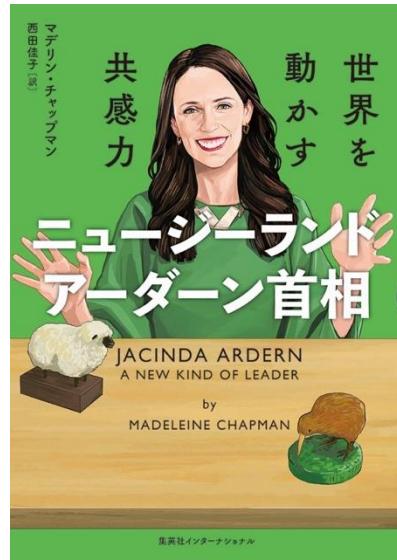


ニュージーランド アーダーン首相 世界を動かす共感力

マデリン・チャップマン著 西田佳子 訳

- ◆定価 2,200円（10% 税込）
- ◆四六判 並製 324ページ（うちカラ一口絵4ページ）
- ◆発行：集英社インターナショナル 発売：集英社
- ◆ISBN 978-4-7976-7403-3



11月26日(金)発売！

こんなリーダーが欲しかった！

迅速な判断と、丁寧な発信の結果、2020年、いちはやく新型コロナの封じ込めに成功したニュージーランドの首相、ジャシンド・アーダーン。

そのコミュニケーション力、国民に寄り添う共感力は世界中で絶賛された。

2017年37歳で首相就任。世界で産休をとった初の首相で、当時は事実婚。

生い立ちから政治家としての歩み、出産やワーキングマザーとしての働き方、

モスク銃撃事件への迅速で温かい対応、そして、2020年のコロナ対策と選挙での圧勝を描く。

フェミニズムの観点からも興味深い、感動の評伝！



2019年、ニュージーランド史上最悪の銃撃事件のあと、悲しむ市民を抱きしめる。



2018年、病院からインスタグラムで出産の報告。



2018年、ニューヨークの国連本部で隠し撮りされた家族三人のありのままの姿。

鳥飼玖美子さん推薦！

育児と両立させつつ卓越した指導力を發揮。
新たな時代にふさわしい政治家の姿！

解説「人間が人間らしく
生きられるホームのために」伊藤詩織

「国民ひとりひとりが手を伸ばせば届く存在でいたいんです」(FBで動画配信を始めた理由)

アーダーン首相の功績の一部

- 環境問題、気候変動問題に対して国際的に働きかける
- 2019年のモスク乱射事件後、すぐに銃規制、犠牲者にさまざまな補償を約束
- マオリとの信頼関係を取り戻し、バイアスのない歴史を必須に
- コロナ禍で、自営業者に60秒の手続きで、48時間以内に多額の給付金を振り込み
- 半数が有色人種、半数が白人、性的多様性もある内閣を組閣
- 核兵器廃絶スピーチ動画を2020年8月6日ツイッターにアップ

ジャシンド・アーダーン (Jacinda Ardern)



1980年ニュージーランド、ハミルトン生まれ。ワイカト大学卒業。2008年の総選挙で比例復活で初当選。2017年3月労働党副党首に就任。同年8月、党首に就任。同年10月、NZ史上最年少の37歳3ヶ月で首相に就任。2018年、長女出産。2019年、クライスト・チャーチのモスク襲撃事件後、直ちに銃規制を強化。2020年、新型コロナウイルス感染拡大時、対策と説明を十分にしたうえでロックダウンを敢行。同年10月の総選挙で労働党が過半数の議席を獲得。

目次 プロローグ 二〇一七年十月十九日／1 ムルバラからモリンズヴィルへ／2 モルモン教との別れ
3 見習い政治家／4 ライバル／5 上昇気流／6 記者会見／7 七十二時間以内に／8 選挙戦／9 投票日の夜
10 外交／11 ワーキングマザー／12 ヘレンとジャシンド／13 クライストチャーチ、二〇一九年三月十五日
14 いいときと悪いとき／15 新しいタイプのリーダー／エピローグ二〇二〇年／スピーチ／出典／謝辞
解説「人間が人間らしく生きられるホームのために」伊藤詩織



マデリン・チャップマン (Madeleine Chapman)

ニュージーランドの作家。サモア、中国、ツバル系。スティーブン・アダムスのベストセラー自叙伝『My Life, My Fight』(Penguin Random House NZ) の共著者で、2020年まで《The Spinoff》のシニアライターを務める。2018年ヤング・ビジネス・ジャーナリスト・オブ・ザ・イヤー、2019年ユーモア・オピニオン・ライター・オブ・ザ・イヤーに選ばれる。北島のポリルアに両親と暮らす。

西田佳子 (にしだよしこ)

翻訳家。東京外国語大学英米語学科卒業。訳書にデボラ・クロンビー「警視シリーズ」(講談社文庫)、モンゴメリ『赤毛のアン』(西村書店)、マララ・ユスフザイ他『わたしはマララ』(共訳・学研プラス)、ニール・シャスタマン『僕には世界がふたつある』(共訳・集英社)など多数。

◎貴媒体にてご紹介をご検討いただけましたら幸いです！
著者オンラインインタビュー、書影等下記にお問い合わせください。

【本書のお問い合わせ・取材申込先】

集英社インターナショナル

電話 03-5211-2632 公式サイト <https://www.shueisha-int.co.jp/>